

# あらゆる伝達手段を活用し 柔軟、実直に情報発信

明けましておめでとうございます。市民の皆様方には、清々しい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、本年度の市政運営につきましては、「人口減少対策」「農業振興」ならびに「教育の充実」を重点課題として、進めてまいりました。人口減少対策では、結婚・出産・子育て支援の充実、そして地方創生事業を拡充し若者が結婚して民間住宅への入居ができるよう、定住促進に取り組むことで若者世代の転出の抑制、転入の増加に一定の成果を上げているものと感じております。また市独自の支援事業として保育所等第2子以降の保育料、子ども医療費、インフルエンザ予防接種ならびに各種がん検診を引き続き無料とし、市民が安心して暮らせる環境を維持すべく、適切なサービスを提供してまいります。

昨年4月、つがる市東京事務所を開所し企業誘致や移住定住、そして市の特産品PRをはじめ多岐にわたる首都圏と本市をつなぐ活動を展開したところでありました。本市のアンテナショップ「果房メロンとロマン」は、つがるブランドの一つで

あるメロンに特化した日本初のメロン専門工房で、オリジナルのメニューをカフェとテイクアウトで提供してまいりました。次なるステップは、メロン生産の最盛期以外の時期に新たな栽培方法での取り組みができないか、研究してまいります。また東京事務所では本市の魅力を地道に発信するべく、あらゆる情報伝達手段を活用し柔軟に、かつ実直に情報発信してまいります。

農業振興では、さまざまな施策を実施し農家の所得向上を図ってまいりました。しかしながら、本市の少子化・高齢化の進展は顕著であるため、これまで以上に農業団体、市議会と連携し農業振興を推進し後継者新規就農者の増加や雇用の創出へ取り組んでまいります。

教育の充実では、県内トップクラスの人員となるスクールサポート28名を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒の学習支援を行うとともに、教育推進専門員を新たに配置し、「今後のつがる市の教育の方向性」を示した計画を策定してまいります。新年度からは本計画に沿って地域と学校が一体となった教育活動を進めてまいります。また全小中学校



市長 福島弘芳

Fukushima Hiroyoshi

のエアコン設置工事、トイレの洋式化も随時進め、児童生徒の良好な学習環境の改善に努めてまいります。

市の指定文化財である旧木造中央公民館講堂は、本年4月に市民の皆さまへ公開予定としております。また世界文化遺産登録を目指す縄文遺跡群については、ユネスコへ正式な推薦書を提出するようになりました。本市では、世界に誇れる田小屋野貝塚、亀ヶ岡石器時代遺跡を有することから、史跡の公有地化事業等を継続的に推進し登録実現に向け取り組んでまいります。

市立図書館については、開館以来3年3カ月で来館者90万人を達成しております。市民の皆さまには、図書館をたくさん利用していただきたく、蔵書の充実や良好な運営に努めてまいります。

このほか、本年度の大規模な建設事業としては、総合体育館、公営住宅、一般廃棄物最終処分場ならびに北消防署および稲垣分遣所と目白押しでありました。中でも「つがる市消防署再編統合計画」に基づく北消防署建設の進捗については、本年度末で全体の約70%の進捗となり、稲垣分遣所については、昨年12月に完成し、両施設とも本年9月に運用開始を予定しております。

何よりも市民が、笑顔にあふれる生活ができるよう、また、このまちに住んでいることに幸せを感じ誇りと希望が持てるよう、全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願いするとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新春のご挨拶いたします。



# 多様なご意見を行政に届ける

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃から市議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は元号が「平成」から「令和」に改元され、新しい時代の幕開けとともに、吉野彰氏のノーベル化学賞受賞やラグビーワールドカップにおける日本の大躍進など明るい話題が数多くありました。

一方、度重なる台風の上陸や豪雨により、全国各地で甚大な被害が発生した年でもありました。被災された皆さまには、一日も早い復旧を願ひ、心よりお見舞い申し上げます。

幸い、本市を含む津軽地域では大きな被害もなく、比較的天候にも恵まれ平年並みの出来秋を迎えることができましたが、本市の基幹産業である農業においては、自然災害による被害を最小限に抑えるための栽培管理や経営管理に努めることが痛感させられるところでもありました。

さて、本格的な人口減少と超高齢社会が到来し、社会構造の変化が進

む中、多岐にわたる政治行政課題の克服に向けて市議会の果たすべき責務はますます重要となっております。

このため、将来にわたって安定した住民サービスを提供するための行政運営が求められており、本市においても魅力ある地域づくりに向けてたさまざまな課題に取り組んでいるところでもあります。

こうした中、昨年4月に東京事務所が設置され、中央省庁をはじめとする関係機関との情報収集や企業等の誘致、特産品のメロンを通しての情報発信など、本市と首都圏とをつなぐ活動拠点として大きな期待が寄せられているところです。

基幹産業である農業については、TPP発効による農産物の価格低下が懸念される中、農産物の高付加価値化や産地間競争力の強化など、本市農業の将来展望を見据えた施策の実現に向け、積極的に働きかけてまいります。

議会改革では、昨年2月の改選で定数を2名減じましたが、二元代表制の一翼を担う立場から、これまで以上に市民の皆さまの多様なご意見

を行政に届けるための適正な行政運営の監視役として、より一層皆さまとの連携強化を図ってまいります。

また、市民の皆さまへの情報提供に努めるため、インターネットによる議会中継を引き続き実施していくとともに、議会基本条例を随時検証しながら、議会運営のさらなる効率化に向けた取り組みも検討してまいります。

今後とも議員一同、市民の皆さまからの信頼と負託に応えられるよう研鑽を重ねながら、より開かれた議会を目指して全力で取り組んでまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、希望に満ちた明るく実りの多い年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



## 2020 年頭あいさつ

議長 平川 豊

Hirakawa Yutaka